

# 社会医学系専門医制度(JBPHSM)ZENHO通信 (No.5)

平成 30 年 5 月 9 日発行  
全国保健所長会

## 1 社会医学系専門医協会の動向について

### (1) 専門研修プログラムの認定状況について

すべての都道府県で専門研修プログラムが作成されています。(最後の認定は 6 月です。) 時間をかけて作成された地域では、大学や中核市等と連携したプログラムとなっています。厚生労働省医系技官プログラムでは、多職種評価の様式が作成され、大変参考になります。

### (2) 経過措置専門医・指導医の認定状況について

2018 年度の経過措置専門医・指導医の認定が終了し、登録申請後に認定証が交付されます。今回から協会のロゴマークが入っています。累計すると、約 3000 名の専門医・指導医が登録される予定です。

### (3) 専攻医の登録状況について

協会が平成 29 年 12 月に実施した、専攻医調査(専攻医登録のある 26 プログラムを対象)では、2019 年 3 月に修了予定が 6 名、2020 年 3 月修了予定が 84 名、2021 年 3 月修了予定が 14 名でした。専攻医の学会発表について、地方会も認めてほしいとのご意見がありましたが、全国規模での座長と意見交換のできる学会での発表となりました。ただし、公衆衛生情報研究協議会(事務局:国立保健医療科学院)での発表は可能です。

### (4) 今後の経過措置について

専門医となるには、専攻医となり専門研修プログラム管理委員会で修了認定をうけることが必要です(社会医学系経験年数により早期修了も可能)。2019 年度、2020 年度の 2 年間は経過措置期間のため、非専攻医でも受験が可能ですが、受験資格事前審査(有料)が必要となるため、なるべく専攻医に登録されることをお勧めします。経過措置指導医はあと 2 年間申請が可能ですが、基本プログラム受講が条件となります。申請時期は 12 月です。

### (5) 基本プログラムについて

専攻医の修了、経過措置専門医の更新、経過措置指導医の申請に必要となっているのが、基本プログラム(7 科目×7 時間)です。現在、協会加盟学会で学術総会時に講座が開催されていますが、疫学・医学統計学については、Eラーニングでのみ提供されます。また、経過措置指導医の更新単位にもなります。国立保健医療科学院の研修や専門職大学院等での受講も認められています。

### (6) 更新単位について

加盟学会・団体で、更新単位となる講習会(K単位)、学会等参加(G単位)について調査を行っています。今後、各学会・団体で公表していく予定です。

## 2 全国保健所長会での取組について

### (1) 指導医講習会の開催

今年度もブロック別指導医講習会が保健所連携推進会議の日に同時開催されます。全国保健所長会HPに申し込み方法が掲載されています。指導医講習会は、経過措置指導医の更新のための必須単位となります（5年間で2回以上）。経過措置専門医も更新単位になりますので、保健所だけでなく、本庁や他の行政の経過措置指導医等にも周知をお願いします。

### (2) 更新ルールへの対応について

全国保健所長会では、更新単位となる講習会等について、学術担当理事と連携し、都道府県等保健所長会に対し、調査を予定しております。全国保健所長会主催の保健所連携推進会議・全国保健所長会研修会（K単位で1時間につき1単位）、全国保健所長会総会研究協議会（G単位で1単位）については、今年度から案内に単位を明記し、受講証明書や参加証明書を交付しますので、更新申請書に添付してください（更新申請様式は現在検討中）。

### (3) 専攻医等の学会発表について

2019年夏の専門医認定試験を予定している専攻医や非専攻医については、学会発表が必要となります。今年度日本公衆衛生学会の演題締め切りが5月中です。指導医の方は情報提供をお願いします。

### (4) 都道府県等保健所長会への調査について

昨年実施した社会医学系専門医制度に関する自治体の取組状況調査（6月実施）と活用状況調査（9月実施）について、廣瀬副委員長が、10月の日本公衆衛生学会に発表いたします。調査結果については、ZENHO通信の特集号で報告しております。ご協力ありがとうございました。

### (5) 公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会について

今年度は8ブロックからの委員で構成することができました。ブロック別指導医講習会での講師やブロック別の情報収集や情報提供に努めてまいります。

○顧問：内田副会長（大分県東部）、宮崎副会長（福岡県北筑後）

○委員：北海道：山本（北海道岩見沢）、東北：下川（仙台市）、関東甲信越静：武智（群馬県館林）、東京：田原（多摩府中）、播磨（西多摩）、渡部（千代田区）、清古（・飾区）、東海北陸：古川（愛知県新城）、近畿：宮園（大阪府寝屋川）、中国四国：廣瀬（愛媛県宇和島）、九州：宗（長崎県県南）、西田（宮崎市）

発行責任者：清古愛弓（公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会委員長）